

連載

ホームページで情報発信

M
H
A
O
K
M
E
N
G
P
A
G
E



フォームとは

ネットサーフィンをちょっとでもしてみれば、あちこちのホームページに、アンケートなど入力のできるページがあるのを見つけることができます。

WWWには、ホームページで情報を発信するだけでなく、読み手からのレスポンスがもらえる仕組みがあり、その入力部分をフォームと呼んでいます。

入力フォームには、次のような種類があります(図1)。

・テキスト入力フィールド

文字列を入力してもらうためのもので、1行で入力するフィールドと、複数行の入力が可能なボックスフィールドがあります。

・ボタン

ボタンには「ラジオボタン」と「チェックボックス」、それに「送信」と「キャンセル」という種類のボタンがあります。マウスでクリックするだけでレスポンスする内容を選択したり、送信したりすることができるので、読み手の側にもっとも負担のかからない方法です。

・リスト

あらかじめ用意した複数の選択肢のリストから選んでもらうものです。ボタンと同様に、読み手はクリックするだけでいいので、これも負担がかかりません。選択肢の内容や種類によって、ラジオボタンにするか、チェックボックスにするか、あるいはこのリストにするかを考えて使います。

入力内容を受け取るには?

入力用のフォームを作るのは、HTMLでできますが、問題は入力された内容をどのように受け取るかです。

一般的には、Webサーバーにフォーム内容を受け取るためのプログラム(CGI)を用意しておく必要があります。しかし、ダイアルアップでプロバイダーに接続して、そのプロバイダーのディスクの中にホームページを置いてい

川添 歩(かわぞえあゆむ)
アクセス株式会社 <http://www.axes.co.jp/>

第10回 フォームを作る

ホームページは、個人が自由に情報を発信できるすばらしいメディアですが、せっかくのインターネット、発信するだけではもったいないですね。今回は、ホームページを見てくれた人から情報を得るための、フォームについて解説します。

る場合には、このようなプログラムを用意するのは難しい場合が多いでしょう。プロバイダーやレンタルサーバーによっては、CGIをあらかじめ用意していたり、用意がなくてもユーザーが作ったCGIを置くことを許していたりするところもありますので、とりあえずそのようなサービスがあるかどうかを調べましょう。

こうしたサービスが用意されていない場合には、入力された内容をメールにして送る方法があります。多少の制限がありますが、この方法であれば、一般のユーザーでもフォームでの情報受信が可能になります。

フォームの定義

フォームは、FORMタグによって定義します。複数の質問項目をひとまとまりとして、これをFORMタグで囲みます。

```
<FORM ACTION="URL" METHOD=GET|POST>
  ⋮
</FORM>
```

という形式です。ACTIONオプションでのURLの指定は、CGIを利用する場合はそれぞれのCGIの仕様によって異なります。

メールで受け取る場合には、

```
<FORM ACTION="mailto: x @ x x x x x x"
METHOD=POST>
```

のように、URLのところにはmailto:に続けて送り先のメールアドレスを記述します。

そしてFORMタグで囲われた中に、入力用のタグを入れていきます。

テキスト入力フィールド

1行入力フィールド

```
<INPUT NAME="name" SIZE=n MAXLENGTH=n>
```

フィールドに名前を付けて、このタグを書けば、1行分の入力フィールドが作られます。SIZEオプションでフィールドの表示の長さを指定しま

す。MAXLENGTHオプションは入力できる最大文字数を指定するものです。ここで指定した文字数より多く入力しようとしてもできなくなります。SIZEとMAXLENGTHの部分は省略できます。

NAMEで指定する名前は、英数字にしておいたほうが無難です。

スクロールのできるボックスフィールド

```
<TEXTAREA NAME="name" ROWS=n COLS=n>
~</TEXTAREA>
```

ボックスフィールドに名前を付けて、ROWSオプションで行数を、COLSオプションで幅(1行の文字数)を指定します。~の部分に文字列を入れておくと、ボックスフィールドに前もってその文字列が入力された形で表示されます。特に文字を入れておく必要がなければ、

```
<TEXTAREA NAME="comment" ROWS=4
COLS=40></TEXTAREA>
```

のように間に何も挟まないようにします。

ラジオボタンとチェックボックス

ラジオボタンまたはチェックボックスで回答をしてもらう方法は、もっともユーザーに負担がかからない質問方法でしょう。

ラジオボタンとチェックボックスの使い分けは、ユーザーが迷わないように、用途に応じて厳密にしなければなりません。

ラジオボタン

ラジオボタンは複数の選択肢からただ1つを選ぶ場合に使います。自動車に付いているラジオの選局ボタンは、どれか1つを押すと、今まで押されていたボタンが解除されて、必ずどれか1つだけが押された状態になるようになっています。それと同じ機能なので、この名前が付けられています。

ラジオボタンは

図1: 入力フォーム例

The screenshot shows a Netscape browser window displaying a form titled 'form.html'. The form contains several input fields: '名前:' (Name), '住所:' (Address), 'E-Mailアドレス:' (E-mail address), '感想をどうぞ:' (Comments), '性別:' (Gender) with radio buttons for '男性' (Male), '女性' (Female), and '不明' (Unknown), '家族:' (Family) with checkboxes for '配偶者' (Spouse) and '子ども' (Children), and a '評価:' (Rating) dropdown menu. At the bottom, there are two buttons: 'ポストする' (Post) and 'リセットする' (Reset).

ボタン

リスト

チェックボックス

ラジオボタン

テキスト入力
フィールド

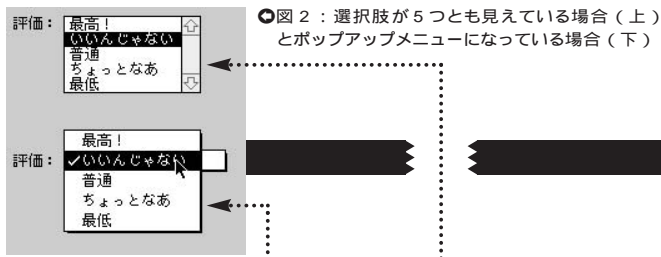
図1のHTML

```
<HTML>
<HEAD>
<TITLE>Form</TITLE>
</HEAD>
<BODY>

<FORM METHOD="POST"
ACTION="mailto:xxx@xxxxxxxxx">

名前: <INPUT NAME="Name" SIZE=20 <BR>
住所: <INPUT NAME="Address" SIZE=40
MAXLENGTH=40> <BR>
E-Mail アドレス: <INPUT NAME="E-Mail" SIZE=40>
<BR>
<BR>
感想をどうぞ: <BR>
<TEXTAREA NAME="comment" ROWS=4
COLS=50></TEXTAREA>
<BR>
<BR>
性別:
<INPUT TYPE=RADIO NAME="sex" VALUE="male"
CHECKED>男性
<INPUT TYPE=RADIO NAME="sex" VALUE="Female">
女性
<INPUT TYPE=RADIO NAME="sex" VALUE="unknown">
不明
<BR>
<BR>
家族:
<INPUT TYPE=CHECKBOX NAME="mate" VALUE="true"
CHECKED>配偶者
<INPUT TYPE=CHECKBOX NAME="children"
VALUE="true">子ども
<BR>
<BR>
評価:
<SELECT NAME="level">
<OPTION>最高!
<OPTION>いいんじゃない
<OPTION>普通
<OPTION>ちょっとなあ
<OPTION>最低
</SELECT>
<BR>
<BR>
<INPUT TYPE=SUBMIT VALUE="ポストする">
<INPUT TYPE=RESET VALUE="リセットする">
</FORM>

</BODY>
</HTML>
```



●図2：選択肢が5つとも見えている場合（上）とポップアップメニューになっている場合（下）

```

評価：
<SELECT NAME="level" SIZE=1>
<OPTION>最高！
<OPTION SELECTED>いいんじゃない
<OPTION>普通
<OPTION>ちょっとなあ
<OPTION>最低
</SELECT>

```

```

評価：
<SELECT NAME="level" SIZE=5>
<OPTION>最高！
<OPTION SELECTED>いいんじゃない
<OPTION>普通
<OPTION>ちょっとなあ
<OPTION>最低
</SELECT>

```



●図3：入力されたフォーム

```

Name=%88%F6%95w%81@%97%E7%8E&Address=%93%8C%8B%9E%93
s%90%E7%91%E3%93c%8B%E6%8E0%94%D4%92%AC+20&E-
Mail=impress@impress.co.jp&comment=%82%C6%82%C1%82%C4%82%E
0%82%B7%82%CE%82%E7%82%B5%82%A2%83y%81%5B%83W%82%BE
%82%C6%8E%82%A2%82%DC%82%B7%81B%0D%0A%Very+Cool&sex=Fe
male&mate=true&children=true&level=%82%A2%82%A2%82%F1%82%B6
%82%E1%82%C8%82%A2

```

●図4：図3のフォームから送られたデータを受け取ったもの

```

<INPUT NAME="name" TYPE="RADIO"
VALUE="value">

```

1つとは限らない場合に使います。
チェックボックスは

のように作ります。

ラジオボタンにおいて1つの質問に対する回答群は、それらのNAMEを同じものにして、VALUEにボタンの意味する内容を記述するようになります。

また、オプションとしてCHECKEDを付加して

```

<INPUT NAME="name" TYPE="CHECKBOX"
CHECKED>

```

```

<INPUT NAME="name" TYPE="CHECKBOX"
VALUE="value">

```

のように作ります。

チェックボックスでも、ラジオボタンと同様に、オプションでCHECKEDを付加しておけば、あらかじめボタンがチェックされた形で表示されます。

リスト

のように書くと、すでにボタンが選ばれた形で表示されます。

ラジオボタンで選択肢を選ばせる場合には、選択肢のうち1つをCHECKEDにしておくといでしょう。たとえば、性別を選択するラジオボタンを作る場合、あらかじめ女性が選ばれているようにするには、

```

<INPUT TYPE=RADIO NAME="sex"
VALUE="Female" CHECKED>女性<BR>
<INPUT TYPE=RADIO NAME="sex"
VALUE="Male">男性<BR>

```

というようになります。

チェックボックス

チェックボックスは、その名のとおりチェックをして選択するボタンで、必ずしも回答が

ラジオボタンやチェックボックスと同様に、いくつかあらかじめ用意した選択肢から選ばせる入力方法です。選択肢が多かったり、選択肢の文字列が長いなど、ボタンでは見にくかったり選びにくかったりする場合にはこちらを利用します。

```

<SELECT NAME="name" SIZE=n>
<OPTION>選択肢1
<OPTION>選択肢2
⋮
</SELECT>

```

用意する選択肢は<OPTION>のうしろに続けて記述します。つまり、選択肢の数だけ<OPTION>が存在することになります。

SIZEオプションで指定する数字は、一度に見せる選択肢の数です。この数が1だとポップアップメニューによる選択になり、2以上だとその数字分の行数のリストが表示されて、

そこから選ぶ形になります(図2)。SIZEは省略することもでき、その場合には選択肢の数やMULTIPLEがどうにかに応じてポップアップメニューになったり、リストの大きさが変化したりします。

通常選べる選択肢は1つだけですが、<SELECT NAME="name" MULTIPLE>のようにMULTIPLEを追加すると、選択肢からユーザーは複数を選べるようになります。複数選択できるようにした場合には、ポップアップメニューは使えません。

ボタンのCHECKEDと同じように、<OPTION SELECTED>とすることで、あらかじめその選択肢がすでに選択された形で表示されます。

送付 / キャンセルボタン

以上の入力を送付するためのボタンがないと、フォームの意味がありません。これをやるのを忘れてはいけません。

```

送付用のボタンは
<INPUT TYPE="SUBMIT" VALUE="name">
となります。

```

<INPUT TYPE="RESET" VALUE="name">で作られるボタンは、入力された内容をすべて初期値、すなわちほとんどの場合には空白に戻すボタンです。たいてい送付用のボタンとセットで作られていますが、実際には、送信したくない場合は送信ボタンを押さなければいりだけですから、RESETのほうはどうしても必要なわけではありません。

VALUEはボタンに表示される名前です。日本語のページであれば、日本語で

<INPUT TYPE="SUBMIT" VALUE="送信">
のように書いてもかまいません。

メールで結果を受け取る

さて、このようにして作ったフォームに読み手が入力して送付してくれた内容は、mailtoで指定した場合はメールで送られてくるわけですが、実は書き込まれたものがそのまま送られてくるわけではありません。フィールドなどの名前とともに、一部コード化されて1行の文字列として送られてきます。

たとえば、図3のように入力された内容がメールで送られてきた結果は、図4のようになります。

これは、基本的には各項目の名前の後に=で続けて回答内容があり、各項目間を&でつないだものです。しかし、スペースや記号、漢字の部分がコードに変換されているのです。英数字だけで構成して入力された内容であれば、このままでも内容は分かるのですが、かな漢字を使っている場合には、内容は読むことができません。

そこで、このコード化されたものを普通の読めるデータ形式に変換する必要があります。

このためのツールとして、「ClipDecoder」があります。フォーム結果をメールで受け取る方法について説明している田中求之氏のページ（<http://mtlab.ecn.fpu.ac.jp/Clip>

Decoder/）にマック版が、前園健一氏のページ（<http://www.st.rim.or.jp/ken-mae/ClipDec.html>）にウィンドウズ版があります。

なお、メールでフォーム記入内容を受け取る場合、最近ではほとんどないと思いますが、古いブラウザによってはこの機能が使えないことがありますので、注意してください。

ClipDecoderは本誌CD-ROMに収録されています

MAC ClipDecoder
WIN CLIPDEC



自然から受け取る情報

東京生まれの東京育ちだからか、そうなのかもしれないが、私は月に一度ぐらいいは、自然の中に行かないとストレスが解消されない。東京という街はとても好きだけれど、緑のおいする空気をかいだり、川の流れる音を聞いたりすることは、都会の中の楽しみでは代替できない何かを持っている。そんな思いで、私のホームページはForestと名付けている。

自然の中に行く機会をなかなか持てないでいる間は、しかたがないので街の中の自然を探して歩くことになる。気を付けていると、都会の中にも季節の移り変わりを示すさまざまな自然の営みが見えてくる。

空き地を占領しながらみるみる大きくなるセイタカアワダチソウ、駅の改札に迷い込んだカラスアゲハ、いつのまにか道ばたで鳴き出しているコオロギ。

年を経るごとに、東京の中での自然との出会いはどんどん減っているのを感じるが、それだからこそ、数少ない機会を大切に、見逃さず、忘れず、記録にとどめておきたいと思う。

その記録を、ただ自分だけのノートに記すのではなく、ホームページに載せていくのは楽

しいことではないかと考えている。

新しい何かや変わっていく何かを発見したときに、1行でいいから日付けと天候とともにそのことを記録してホームページに載せる。もちろん、デジタルカメラで撮った写真やスケッチをスキャナでとりこんで画像入りのページにできればすばらしい。

1年たてば、それが自分の住んでいる場所での歳時記になる。2年目は1年目と比較できる形でページにしていくと、なお楽しいだろう。

そして、せっかくのインターネット。日本各地、世界各地の自然やその移り変わりを自分のところのそれと比較してみることでできるはずだ。たとえば、日本の南から北まで、各地にいる人とともに、桜の花が自分の家のそばで咲いてゆく様子を記録していったら、そしてそれを日本地図の上にプロットしていったら、桜の花ががしだいに南から咲いてゆくのをまさに実感できるはずだ。

東京のような都会では、ずいぶん気を付けていないと季節を示す自然のメッセージを受け取れないけれど、もっとたくさんの自然があるところであれば、毎日のようにいろいろな変化があるだろう。一般に、情報は東京に集中しているとされるけれど、自然が発して

いる情報は都会から離れば離れるほど、多く豊富になる。インターネットという技術を使って、ちまちました自然に喜んでる東京モンに、その比べものにならない「情報格差」を見せつけてほしい。

それから、子どものいる方は、ぜひ子どもといっしょにホームページ作りをやっていただきたい。HTMLにするのはおとうさんやおかあさんの役目として、その材料、観察記録やスケッチや写真を、子どもに書いてもらった、集めてきてもらう。他の地方の子どもとメールの交換をしたり、お互いのホームページを見ながら作っていく、学校の授業で学ぶ理科や社会よりずっと楽しく、そして実感にもとづいた知識を得ることになるだろうし、インターネットというものをじかに体験するいい機会となると思う。

実は私のホームページでは、こうした内容をまだ何も作っていないのだけれど、書いているうちにとても作りたくなってきた。もし、こうしたページを作ってみたい、あるいはすでに作っているという方がいたら、私のホームページ（<http://www.axes.co.jp/ayumu/>）からメールをください。いっしょに作りませんか。



[インターネットマガジン バックナンバーアーカイブ] ご利用上の注意

このPDFファイルは、株式会社インプレスR&D(株式会社インプレスから分割)が1994年～2006年まで発行した月刊誌『インターネットマガジン』の誌面をPDF化し、「インターネットマガジン バックナンバーアーカイブ」として以下のウェブサイト「All-in-One INTERNET magazine 2.0」で公開しているものです。

<http://i.impressRD.jp/bn>

このファイルをご利用いただくにあたり、下記の注意事項を必ずお読みください。

- 記載されている内容(技術解説、URL、団体・企業名、商品名、価格、プレゼント募集、アンケートなど)は発行当時のものです。
- 収録されている内容は著作権法上の保護を受けています。著作権はそれぞれの記事の著作者(執筆者、写真の撮影者、イラストの作成者、編集部など)が保持しています。
- 著作者から許諾が得られなかった著作物は収録されていない場合があります。
- このファイルやその内容を改変したり、商用を目的として再利用することはできません。あくまで個人や企業の非商用利用での閲覧、複製、送信に限られます。
- 収録されている内容を何らかの媒体に引用としてご利用する際は、出典として媒体名および月号、該当ページ番号、発行元(株式会社インプレス R&D)、コピーライトなどの情報をご明記ください。
- オリジナルの雑誌の発行時点では、株式会社インプレス R&D(当時は株式会社インプレス)と著作権者は内容が正確なものであるように最大限に努めましたが、すべての情報が完全に正確であることは保証できません。このファイルの内容に起因する直接のおよび間接的な損害に対して、一切の責任を負いません。お客様個人の責任においてご利用ください。

このファイルに関するお問い合わせ先

株式会社インプレスR&D

All-in-One INTERNET magazine 編集部

im-info@impress.co.jp